

季刊

青葉の森から

第46号

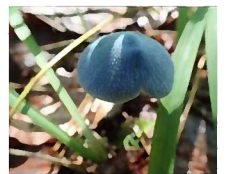
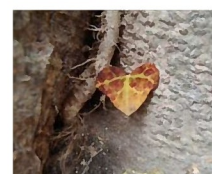
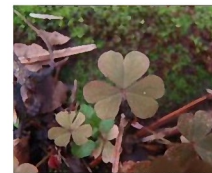
2017年
10月5日発行



『下を向いて歩こう!』

秋が深まり、森が錦に染まる「山粧^{やまぶしろ}う」季節。ちょうどよい気温で散策するのもいい時期です。

森を歩くときは紅葉の景色を眺めるだけでなく、“下を向いて歩く”楽しみ方をしてみませんか？足元に視線を落とし、ゆっくり歩くと何かおもしろいものを発見するかもしれませんよ。ありきたりなものでも目を凝らしてみると、小さな世界にひきつけられます。



近頃はハートスポットめぐりが人気となっているので、ハートに注目した形探しはいかがでしょう？自然の中には様々な形がありますが、葉や花びら、実などのハート型をしているものがたくさんあります。どんなものがあるか、いくつつあるか探してみては？

このように下を向いて歩くと、見過ごしてしまいがちなものに出会えるのでおすすめです。ときには、下ばかりでなく上を見上げれば新たに素敵なものが見えるかも……。いろんなところを見て森を楽しんでみてください。
(り)



森は秋・でも気は抜かないで

秋が深まり生き物達の姿を見かけることも少なくなりました。晩夏から秋を謳歌していた鳴く虫の声も今は微かに聞こえてくるだけです。大変だった蚊がいなくなるのは歓迎ですが、やはり生き物の気配が薄らいでいくことには寂しさを感じます。

しかし、9月頃から個体数を増やし10月までにMAXを迎える昆虫がいます。それはスズメバチ。

あまり危険性ばかりを強調したくはないのですが、ツキノワグマによる被害よりもはるかに多くの被害者を出しているのはスズメバチなので、これからの季節の森あるきも注意が必要です。



実は今年の8月に散策路のすぐそばでオオスズメバチの巣が発見されました。ただし、その巣は何者かが掘り出した後でしたので大事に至らずに済んでいます（写真1）。



写真1 掘られた巣の跡

オオスズメバチは地中に営巣するため、気付かずに近づいてしまい襲われるケースが多いのですが、今回の件はまさにその通りで巣があることは全く気付かませんでした。誰かが掘り出さなければ巣はどんどん大きくなり、被害防止のため通行止めにならなければならなくなっていたでしょう。

では、いったい誰がオオスズメバチの巣を掘り出したのか？どんな生き物でもこの蜂に刺されたらひどいことになると思うのですが、ヒントは“巣がきれいに掘り出されていた”ということです。クマだったらもっと豪快に掘りますし、どちらかというハチミツが欲しくてミツバチの巣を襲うほうが多いと思います。スズメバチの幼虫は貴重なタンパク源なのでタヌキやイタチも食べると思います。例え夜間に襲ったとしても、これらの小動物では激しい反撃をくらい

食べるのは難しいと思われます。これら以外で考えられる生き物は2種類。それは人間とハチクマ（写真2）です。



写真2 ハチクマ（「ハチクマ観察の前に」より転載）

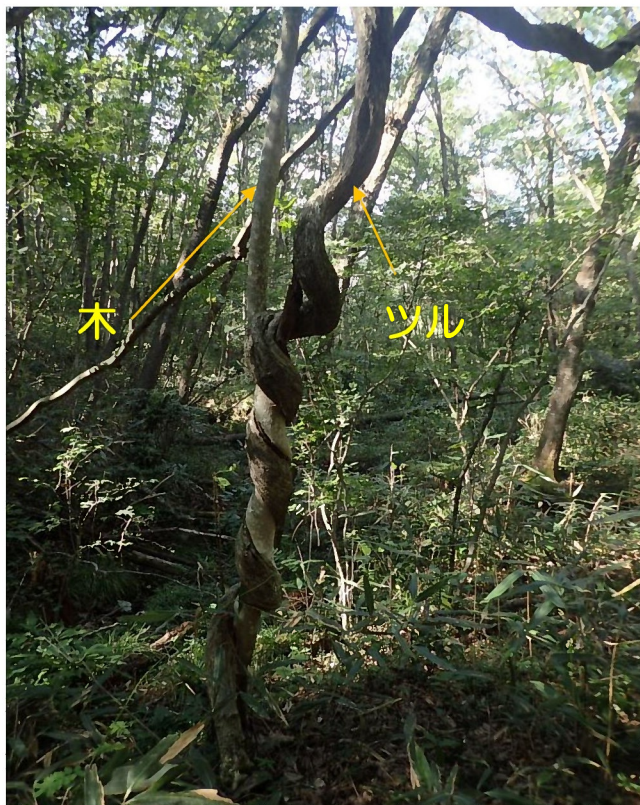
ハチクマとは蜂の幼虫を好んで捕食する鷹で、日本で繁殖する夏鳥です。私は個人的にこの鷹が巣を掘り出したのではないかと考えています。人間であれば発炎筒を焚いたり防護服を着たりと大げさな準備が必要で人目につきます。でもそんな話は聞こえてきません。消去法によって残ったのがハチクマなのですが、本当にハチクマだったとしたら嬉しいです。まだ一度も青葉の森では確認されていないので、人知れず住んでいてくれたのなら出会ってみたいですし、懸命に脚で巣を掘る姿を想像するとワクワクします。

さて、本題のスズメバチの話が最後になりましたが、スズメバチから身を守る方法は、ハチが寄ってきたらじっとしてゆっくり離れることです。近づいてきたスズメバチを手で払おうとすると逆に刺激してしまい襲ってくる可能性が高まるためハチが去ってしまうまでじっと我慢していたほうが安全です。また、ハチを刺激する黒い帽子や服は着ない、ハチを誘引する香水や整髪料はつけない、などは当然の対処でしょう。クマと違って鈴やラジオを鳴らしても全く関係ないので、出会ってしまったからの対処を覚え実践するしかありません。希な例ではありますが、巣に近寄ってしまい大量のハチに襲われてしまった場合は、とにかく逃げるしか方法はありません。

危険なスズメバチは駆除しないのですか、とよく聞かれますが、スズメバチも重要な生態系の構成種で、他の昆虫を食べたりハチクマに食べられたりしながらバランスが取れていますので基本的に駆除はしません。巣が散策路のすぐ脇に作られた場合は考えますが、人間側がきちんとした対処法を身に付けて森を利用すれば不幸なトラブルは回避できますから、これからも上手く付き合っていきたいと思います。（千）

木の最大の敵はなに？

木にとって生きるための最大の敵は動物、昆虫、微生物、災害それとも人間？・・・それぞれおおきな敵ですが最大の敵はツル（蔓）なのです。

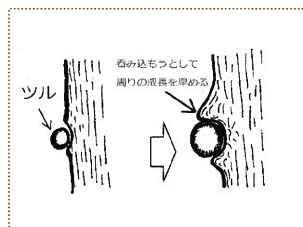


【写真1】 園内のツルのしわざ 巻き付いた木よりも太くなり、ツルの先は隣の木まで伸ばし巻き付いています

木にとって一番やっかいな相手です。ツルは木に巻き付きながら成長します。絡みつくと樹木は最初にツルを押し除けようとしてツルの接触している部分の成長を早めます。今度はツルの方が太くなり締



【写真2】 ツルが巻き付いていた跡がらせん状に残っています



【図1】 ツルを飲み込むように年輪が変化

め付けを強めると、さらに木がツルを外側から呑み込もうとして接触部分の周囲の成長を早めます。ツルも負けずに太くなるのでツルが幹に深く食い込んでいきます。フジなどがその代表で、木を枯死させるため**締め殺し植物**と呼ばれています。

ツルは構造が柔らかくゴムのように曲げることができます。それ以上に厄介なのが乾燥すると木と同じかそれ以上に固くなり、引きちぎることができない頑丈なことが木の最大の敵である理由です。

ツルは光合成に有利な高い位置に葉を展開させるために、自身を支える支持組織を発達させることをせずに細い茎や巻きひげ、付着根、刺などで高いものに巻き付いていくという進化を選んだ植物なのです。絡みつかれた木が枯れて倒状してしまうとツルは自分で光合成ができなくなるので、多くの場合その周囲の木にも絡みついて、自身が枯れた木と一緒に倒れないよう保険をかけています。生き延びるための知恵といえます。

呑み込む木

木は固い物体に接触すると、その接触した周囲の形成層が急激な細胞分裂をして盛り上がり、相手を呑込もうとします。これはワイヤー接触部分から病原菌の侵入を防ぐために傷口をふさごうとする力が働いたと考えられます。【写真3】 このような障害物にも対処できる力を持っています。しかしツルに対



【写真3】 園内周辺のクマシデ 網を呑み込み貫通しています

しては防衛ができないため、手助けが必要かもしれません。ツルのなかでキズタなどは樹幹の周辺に広がるだけでそれほど木に悪影響はなく、すべてのツルが厄介者というわけではありません。

林業ではツル切りという作業があります。まだ細いうちに切れば対処できますが、恐るべき成長ぶりです。木の数倍から10倍のスピードで成長します。(成長の速さ1年間で数mから10m以上) 今後も木の成長を妨げるツルがないように管理していきたいと思えます。(あ)

秋におすすめ！紅葉のみどころ紹介

青葉の森で紅葉が見ごろを迎えるのは、10月下旬から11月中旬で、例年11月10日頃がピークです。



花木広場



管理センター周辺



==== イベント情報 10月 11月 12月 =====

①身近な森を守る仕事を体験

仙台の豊かな緑を後世に残すために今できることを仲間と一緒に体験してみませんか？竹林や遊歩道の簡単な整備や枝拾いを行います。深まる秋を感じながら来年の春に向けての作業です。最終日にはネイチャークラフトも予定しています。(枝など自然素材で作る工作)

【日 時】平成29年10月14日、21日、28日(毎土曜)
10:00~15:00(全3回)

【対 象】高校生以上 【定員】18名(先着)

【持ち物】昼食、飲み物、雨具、タオル、必要な方は着替え

【服 装】林内での作業ができる服装と靴

【申 込】電話で10月6日(金)午前9時から受付開始

② 森でアート「秋の色あそび」

秋の森をアートな視点で楽しむ!“しぜん”の色であそぼう！

【日 時】平成29年10月29日(日)10:00~12:30

【対 象】小学生とその保護者【定員】15名(先着)

【持ち物】飲み物、雨具【服 装】動きやすい服装と靴

【申 込】電話で10月8日(日)午前9時から受付開始

③ 大人の森あるき

秋の森をレンジャーがご案内。ゆったりしたペースで歩きます。

【日 時】平成29年11月5日(日)10:00~14:30

【対 象】高校生以上 【定員】15名(先着)

【持ち物】昼食、飲み物、雨具【服 装】動きやすい服装と靴

【申 込】電話で10月15日(日)午前9時から受付開始

④走ってかくれて！「森の忍者ごっこ」

未就学児向けの森遊び体験会。ちびっこ忍者に変身して、元気にあそぼう！

【日 時】平成29年11月18日(土)10:00~12:30

【対 象】未就学児とその保護者【定員】15名(先着)

⑤めざせ忍たま！「森の忍者あそび」

小学生向けの森遊び体験会。忍者みだいにカッコよく体を動かそう！謎解きにも挑戦するよ！

【日 時】平成29年11月25日(土)10:00~12:30

【対 象】小学生とその保護者 【定員】15名(先着)

④⑤共通事項

【持ち物】飲み物・帽子・雨具

【服 装】運動できる動きやすい服と靴(体温を調節できる服)

【申 込】電話で、11月7日(火)午前9時から受付開始

⑥自分につくるクリスマスプレゼント

「モミの木のブチソーとウッドピースのプレスレット」

園内を散策しモミの森を見に行きます。自分で掘り起こした手のひらサイズのモミの木でクリスマス風の鉢植えと、小枝を使った手作りのウッドピースのアクセサリー作りを体験！

【日 時】平成29年12月3日(日)10:00~12:30

【対 象】高校生以上【定員】15名(応募多数の場合抽選)

【参加費】ひとり400円【申 込】電子メール、往復はがきに氏名(フリガナ)、TEL、イベント名を明記して11月20日(月)必着(開催日の一週間前を目安に返信します)

※イベントの詳細や申込み日など変更になる場合がございます。必ず毎月発行の「市政だより」をご覧の上お申し込みください。ブログで情報お届けしています。「青葉の森ブログ」で検索

【年末年始の管理センター休館日】12月28日~1月4日まで(散策路・駐車場は通常通り利用可能)
【三居沢入口・こもれび広場入口 屋外公衆トイレは12月から凍結防止のため止水します。】

季刊情報誌「青葉の森から」第46号 2017年10月5日発行

発行/編集:(公財)仙台市公園緑地協会 青葉の森緑地

青葉の森管理センター

開館時間/午前9時~午後4時30分 休館日/月曜・年末年始

〒980-0845 青葉区荒巻字青葉260

TEL:022-263-2101 FAX:022-263-2102

地下鉄東西線「青葉山駅」から徒歩15分

<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/index.html>

電子メール(申込み専用) aobanomori@ush.kom @ sendai-park.or.jp

